

オーディオの総合月刊誌 **ステレオ**

stereo

2025
06

小型**CD**プレーヤー一斉試聴
CDトランスポート歴代名機たち／エレクトロニカ～全身で浴びる電子音の快楽
高音質**CD**レーベル紹介

特集

気楽に **CD**再生

「特別企画」北陸オーディオ紀行



文・鈴木 裕 Yutaka Suzuki Photo・K. Kawamura

能率高めのスピーカーと 組み合わせれば、趣味のいい リスニング人生を送れそうだ

1982年に発売されて高い評価を得た同社CAS4040の
真髓を再現するように設計された注目すべきモデル。

クリーク

4040A

プリ・メインアンプ
¥200,000



S P E C

出力●

55W/8Ω、110W/4Ω、両チャンネル駆動

周波数特性●

5Hz~50kHz +/-3dB、10Hz~20kHz +/-1dB

入力感度●525mV/8Ω、55W

入力●RCA×2(アンバランス)、XLR×1(バランス)

デジタル入力●同軸×1、光×1、USB 2.0×1

DAC●ES9018k2m Sabre DAC

スピーカー出力●1系統

ヘッドフォン出力●30~300Ω6.3mm

消費電力●

スタンバイ時0.5W未満、

アイドル時5W、フルパワー時350W

仕上げ●シルバーまたはブラックのフロントパネル

サイズ●21.5W×6H×25.5Dcm

重量●2.2kg

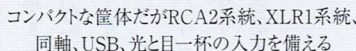
問い合わせ先●

ハイ・ファイ・ジャパン Tel.03-3288-5231

クラスAと
感じられるほどの
温かみのある音

鳴らし出してすぐに、きめ細かい
中高域。低域もしっかり鳴らすと、
メモに書いている。正直に書くと、
最初はクラスDのアンプかなと思っ
て聴きだしたが、10分間も聴か
ないうちに違うかもしれないと思
い始めた。たしかに昔のクラスDは、

イギリスのメーカーのコンパクト
なプリ・メインアンプ。幅は21.5
cm。奥行は25.5cm、重量は2.2
kg。出力は55W(8Ω)、110W(4
Ω)。電源アダプター等はなく、電
源ケーブルがダイレクトに本体の背
面に刺さるタイプ。

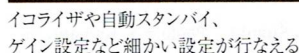


しかし、「このアンプの優れたパワ
ー・マンズの鍵は、オーディオ向け
に最適化された高周波電源にあり、
アンプの潜在的品質を実現してい
る」と説明されている。クラスDで
は電源がとても重要だということだ
ろう。

ところで、そもそも4040Aの起源はクリークオーディオ最初の製品で1982年に発売されたCAS4040にあるという。その真髄を再現するように現代の4040Aは設計されている。と説明されている。

小音量の
雰囲気もちやんと表現

く床が揺れることになる。4040Aをいじめる意図はないが、読者の方になり替わって試験室で聴いているので、駆動力の限界点を見極めるべきと思ったのだ。その結果は、さすがに床が揺れるような重たい音は出なかった。ただし、逆に保護回路も作動しなかった。それでいいんだと思う。





4040 SERIES

from entry level to high-end amplifiers



最新のデジタル技術を駆使した、創立40周年の記念モデル。
ディスクトップでのハイエンドオーディオ再生を目指して、通常の1/4の容積サイズにて新登場！

4040 CD CD Player ¥180,000

4040 A Integrated Amplifier 55W 8Ω ¥200,000

Creek Audio

Designed and Engineered in the UK

株式会社ハイ・ファイ・ジャパン 〒102-0075 東京都千代田区三番町1-8 tel: 03-3288-5231 fax: 03-3288-5233

www.creekaudio.com / www.hifijapan.co.jp